

校長のつぶやきⅡ

校長室便り 第39号

令和2年10月27日 山内

○進路選択 — 3年生就職試験 —



昨日はプロ野球ドラフト会議（新人選手選択会議）が東京都内のホテルで行われ、我がイーグルスは4球団競合の末、早大の早川投手が1位となりました。プロ志望届けを提出した選手の中で昨日

指名されたのはほんの一握りであって、指名されプロに入っても1軍で活躍できるのはさらにわずかの選手と本当に厳しい世界です。そんな中、1軍で活躍している今野龍太先輩には引き続きエールを送りたいと思います。

今朝、写真にある進路室前を通ったなら、3年生が求人票を一層懸命見ていました。16日から始まった就職試験の一回目は残念ながら不合格でしたが、気持ちを切り替えて次の職場を探していました。諦めないで粘り強く探せば必ず見つかります。我々もしっかり応援します。一回目の結果が出始めていますが、戦いは始まったばかりです。私などこの職に就くまで3年かかりました。諦めなければ必ず職に就けます。無限の可能性を信じてください。皆さんには必ず必要とされる仕事があります。「天我が材を生ずる必ず用あり」（李白）

○宮城県最下位 — 横断歩道で止まらない車 —

最近、宮城県に関する良くない報道がありました。一つは宮城県の小中学校の不登校の数は4年連続で全国ワーストでした。これは東日本大震災の影響がないとは言えないと思いますが、知事は昨日の定例会見で、「県全体が不登校に対して寛容な社会なのかもしれない」「数字だけにとらわれて無理やり登校させるのは根本的な解決にはならない」と一人一人に合わせた取り組みが必要だとし、今後は様々な機関と連携し社会で活躍できる人材を育てることが本当の教育だと言われました。

もう一つ、全国で最下位なのが、横断歩道で車が止まることでした。調査は8月の平日県庁所在地の仙台で1日100回、片側1車線の直線道路で調査員が横断歩道を渡り、止まった車の台数を調べました。全国平均は21.3%のところ、宮城は5.7%でした。最も高かったのは長野県で72.4%でした。長野では横断歩道を渡り終えたなら車の運転手にお辞儀をする文化があり、小学生の頃から行われているそうです。私も毎朝岩小前の横断歩道を通ります。岩小生はもちろん岩高生も横断しますので、注意してしっかり止まり、「アイコンタクト」をとりたいと思います。ではこれで今回のつぶやきはお終いです。